

第41回 越後加茂川夏祭り
大勢のご来場ありがとうございました

８月１４日（金）に開催した「第４１回越後加茂川夏祭り」は、お陰様で多くの皆様にご来場いただき、全ての行事を盛会裡に終了することができました。

今年も、おいしんぼ広場やウキウキ桃釣り大会、灯ろう流し、盆踊り大会など、加茂川河川敷を舞台にした様々な催しが行われ、多くの来場者で賑わいました。フィナーレを飾った大花火大会では、加茂川夏祭り名物の「加茂川縦断大ナイアガラ花火」や大噴水花火や二尺玉３連発が打ち上げられ、河川敷では約３万人の観客が加茂の夏の風物詩を楽しみました。

夏祭りの開催にあたり、厳しい社会情勢が続く中、多くの企業・団体の皆様、そして市民の皆様から、温かいご支援と多大なるご協賛を賜りました。皆様のご理解とご協力のおかげで、今年も夏祭りを開催することができましたこと、心より厚く御礼申し上げます。また、準備や会場設営、運営、警備、翌朝の清掃などにご協力いただいた皆様にも、感謝申し上げます。

【越後加茂川夏祭りの歴史】

市街地の中心部を流れる加茂川。現在は、市民の憩いの場となっていますが、過去には幾度も氾濫を繰り返し、特に昭和４４年の水害では大きな被害を受けました。その後、川幅を２倍に広げるなど抜本的な河川改修が行われ、地域おこしと活性化を目的に“市民総参加の夏祭り”をコンセプトとして昭和６１年「越後加茂川夏祭り」が誕生しました。

花火大会や盆踊り、をはじめ、毎年、実行委員会が工夫を凝らした手作りのイベントが加茂川河川敷を舞台に行われており、今では夏の風物詩としてすっかり定着しています。

当日の様子をご紹介いたします




ウキウキ



















